

KENWOOD

GPSナビゲーションシステム

MNA-350

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド

Kenwood Corporation



オーディオ編



Contents

この取扱説明書の読みかたや、全般的な注意事項が書いてあります。最初に一読してください。

本書の読みかた	4
安全上のご注意	6
メディアの取り扱い	10

ここを読めば、ひととおり操作できます。

Audio Basic Operation	12
共通操作	12
ミュージックディスクや オーディオファイルを聴く	14
ラジオを聴く	15

各ソースのいろいろなプレイ方法が書いてあります。ちょっと慣れたら読んでください。

Music Disc & Audio File Listening	16
ディスク/フォルダサーチ	16
スキャンプレイ	16
リピートプレイ	16
ランダムプレイ	17
マガジンランダムプレイ	17
タイトル/テキストスクロール	17
フォルダセレクト	18

Radio Listening	19
オートメモリー	19
マニュアルメモリー	19
チューニングモード	20

本機のいろいろな設定や調整方法が書いてあります。

Audio Control	21
ボリュームオフセット	21
スピーカー設定	21
バスブースト	22

Menu Control	24
メニュー設定	24
時刻合わせ	25
AUXネームセレクト	26

Display Control	23
ディスプレイ表示切り替え	23

トラブルの解決方法などが書いてあります。思いどおりに動かないときに読んでください。

Help? Audio file	27
オーディオファイル	27
Help? Troubleshooting	28
共通	28
ミュージックディスク	28
オーディオファイル	28
Help? Term	29
共通	29
MENU	29
Help? Error	31

Audio Basic Operation

Music Disc & Audio File Listening

Radio Listening

Audio Control

Display Control

Menu Control

Help?

保証とアフターサービス	32
仕様一覧	34

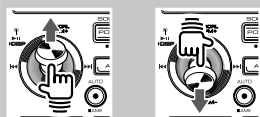
本書の読みかた

この説明書では、イラストを使って操作を説明します。

取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。
このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

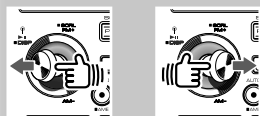
コントロールノブを動かす

コントロールノブの操作を下の図で表します。



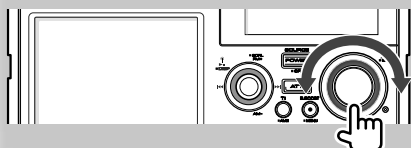
上へ

下へ



左へ

右へ



ボリュームノブを回す

▼：次の段に続きます。
●：ここで終わりです。

AUXネームセレクト

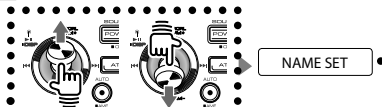
ソースをAUXに切り替えたときに表示される名前（AUXネーム）を設定します。

1 AUXソースに切り替えます



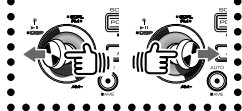
MENU

2 ネームプリセットの項目を選択します



NAME SET

3 名前を選びます



左右に動かすたびに、次の順で名前が表示されます。


- 表示
- AUX/AUX EXT
- DVD
- PORTABLE
- GAME
- VIDEO
- TV

4 AUXネーム選択を終了します



上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

短く押す

 で示したキーまたはノブを押す。


ディスプレイ表示

この表示になるまで左の操作を行います。

表示の切り替わり

操作するたびに、ここに示した順番で表示が切り替わります。

1秒以上押す

 で示したキーまたはノブを1秒（または2秒/3秒）以上押す。

動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでキーを押し続けることを表しています。左記の例では1秒間押すことを示しています。記載された数字を目安にしてください。

その他のマーク

ケガなどを防ぐための大切な注意事項が書かれています。



特記事項や補足説明、制限事項や参照ページなどが書かれています。また、機種に依存する事柄も書かれています。



その項目での全般的な注意事項や参照ページなどが書かれています。

WindowsおよびWindows Media™ は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における商標です。

The "AAC" logo is trademark of Dolby Laboratories.

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

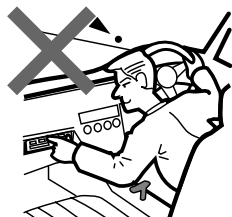


警告



実施

運転中に本製品の操作を行うと、ハンドルから手が離れたり、道路状況への注意力が散漫になるなどして、交通事故などの原因になります。交通事故防止のため、運転中は本製品の操作を行わないでください。本製品を操作するときは、必ず安全な場所に車を止めてから行ってください。



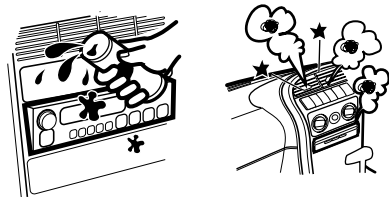
実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



禁止

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

⚠️ 注意



禁止

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



禁止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。



禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。



実施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。

お手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与える場合があります。また、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

接続できるシステムについて

本機には、1998年以降に発売のケンウッド製ディスクチェンジャーが接続できます。接続できるディスクチェンジャーの機種名はカタログをご覧ください。

●
"O-Nスイッチ"の付いているケンウッド製ディスクチェンジャーは"N"側に設定してください。

●
接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

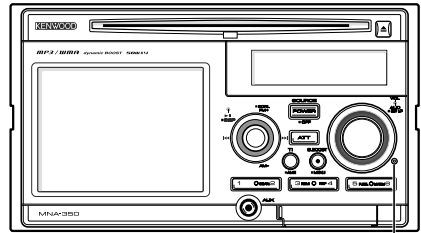
●
本機には1997年以前に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー/CDプレーヤー、および他社製のディスクチェンジャーは接続できません。接続すると、破損や故障の原因となります。

表示できる文字について

本機のオーディオディスプレイに表示できる文字は、英数字のみです。

異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「Help? Troubleshooting」(p28)を参照して解決方法をお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。



リセットボタン

●
リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源をオフにして、購入店に相談してください。

- CDが取り出せない。
- CDを正しく入れ直してもインジケーターの点滅が続く。
- ディスクチェンジャーを接続しているのにディスクチェンジャーモードにならずに"AUX EXT"と表示される。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、チューナーモードにしたり交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。

天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外のソースに切り替えてください。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を超える高温になると、保護回路が動作してディスクの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

メディアの取り扱い

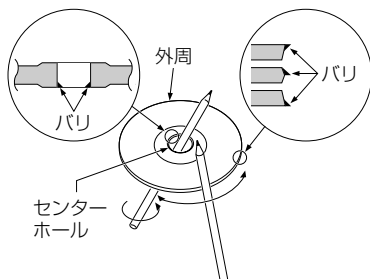
CDの取り扱いについて

CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いには記録面に触れないようにしてください。(レーベルが印刷されていない面が記録面です)



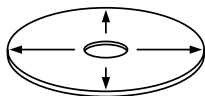
新しいCDを使うときは

新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、CDが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



CDの取り出しかた

本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。

下側に強く押しながら引き出すとCDの記録面に傷を付ける原因となります。

使用できないCD

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



● 記録面(レーベル面の反対側)が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。



● マークの付いていないCDは使用しないでください。

● 前記マークの入っていないディスクは、プレイが正しくできない場合があります。

● ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-RやCD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

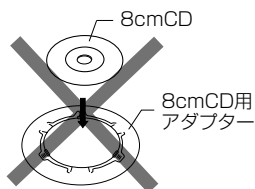
● レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

CD用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ(スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど)は故障の原因となりますので使用しないでください。

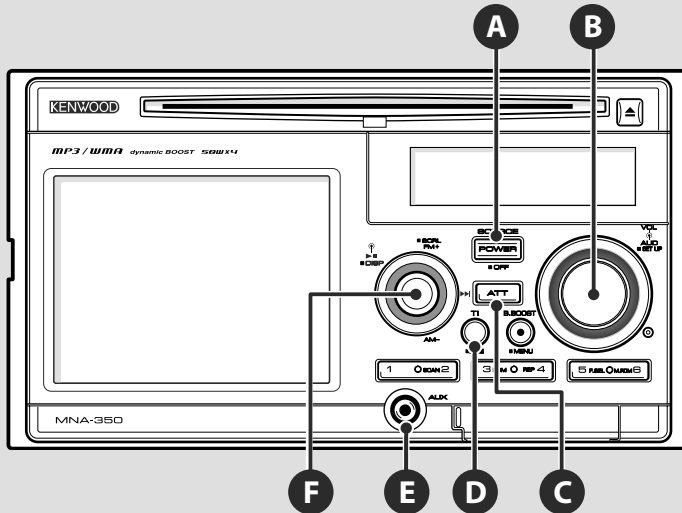


●
8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。



Audio Basic Operation

共通操作



A

電源をオン/オフします

キーを押すと、電源がオンになります。
1秒以上押し続けると、電源がオフになります。

C

音量を素早く下げます

キーを押すと、音量が小さくなります（アッテネーター）。
もう一度押すと、元の音量に戻ります。



- アッテネーターの動作中にはATTインジケータが点滅します。

D

交通情報を聴きます

キーを押すと、交通情報を受信します。
もう一度押すと、元のソースに戻ります。



- コントロールノブ **E** を左右に動かすと、交通情報の周波数（1620kHz/1629kHz/522kHz）を切り替えることができます。
- 交通情報の受信中にボリュームノブ **F** で音量を調整すると、交通情報受信時の音量が記憶されます。

B

音量を調整します

小さく 大きく

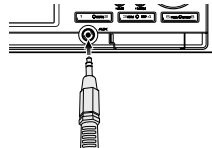


- ナビの音量は調整できません。

E

外部機器を聴きます

AUX端子にポータブルオーディオ機器などを、市販のミニプラグケーブル(3.5φ)で接続します。



次に **ATT** キー **A** を押して“AUX”ソースに切り替えます。

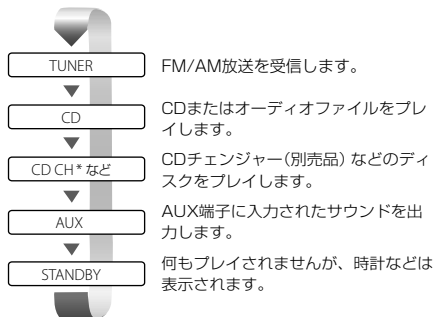



- AUXソースを使用する場合は、「メニュー設定」(p24)の“AUX”を“ON1”または“ON2”に設定してください。
- 接続するミニプラグケーブルは、抵抗の入っていないステレオタイプのものを使用してください。

A

ソースを切り替えます



キーを押すたびに、プレイ可能なソースが次の順に切り替わります。



- *で示したソースは別売品です。
-  キーを押しても、挿入されていないソース(CDなど)や接続していないソース(CDチェンジャーなど)など使用できないソースは飛ばされます。
- AUXソースに切り替えるには、「メニュー設定」(p24)の“AUX”を“ON1”または“ON2”に設定している必要があります。
- プレイできるオーディオファイルの種類やメディア、フォーマットについては「オーディオファイル」(p27)をご覧ください。
- CD、またはオーディオファイルのディスクを挿入すると、挿入したメディアがプレイされます。
- AUX表示は「AUXネームセレクト」(p26)で変更することができます。

B

音質などを調整します

設定したいソースにしてからボリュームノブ  を押して調整する項目を選択し、ボリュームノブ  を左右に回して調整します。調整項目は次の順に切り替わります。



- イコライザーカーブは以下の中から設定します。
 - NATURAL
 - USER
 - ROCK
 - VOCAL
 - EASY
 - DANCE
 - JAZZ
- “USER”は前回調整した“BAS L”、“MID L”および“TRE L”の値が呼び出されます。

時計の調整について

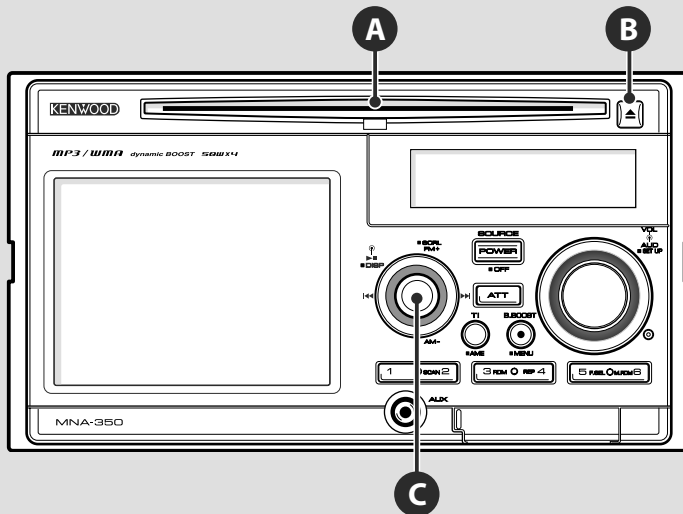
時計の調整はメニューで行います。詳しくは「メニュー設定」(p24)をご覧ください。



注意

安全のために、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。

ミュージックディスクやオーディオファイルを聴く



A B

ディスクをプレイします

ディスク挿入口**A**にディスクを挿入すると、差し込んだディスクがプレイされます。

ディスクを取り出します

イジェクトキー**B**を押す。



- ディスクは水平に挿入してください。
- ディスクが入っているときには、**IN** インジケーターが点灯します。
- ディスクがすでに入っているときには、**POWER** キーでCDモードに切り替えるとプレイされます。
- 通常のCDのほか、オーディオファイルが収録されたディスクをプレイできます。
プレイできるオーディオファイルの種類やメディア、ディスクフォーマットについては、「オーディオファイル」(p27)をご覧ください。
- その他、CDやオーディオファイルが収録されたCD-Rなどのいろいろなプレイ方法については、「Music Disc & Audio File Listening」(p16)をご覧ください。

C

プレイ/ポーズします

プレイを一時停止します。
もう一度押すと、プレイを再開します。

C

プレイする曲を選びます

コントロールノブ**C**を右に動かすと、次の曲がプレイされます。
コントロールノブ**C**を左に動かすと、プレイ中の曲の先頭に戻るか、前の曲がプレイされます。

C

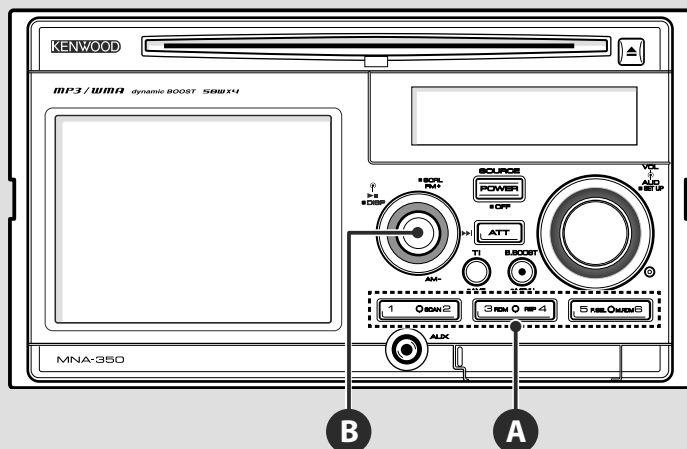
早送り/早戻しします

コントロールノブ**C**を右に押し続けると、押ししている間、曲が早送りされます。また、コントロールノブ**C**を左に押し続けると、押ししている間、早戻しされます。



- オーディオファイルの早送り/早戻し中には音が出ません。

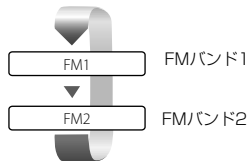
ラジオを聴く



B

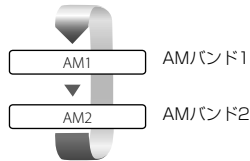
バンドを切り替えます

コントロールノブ③を上動かすと、受信バンドが次のように切り替わります。



- ステレオ受信中はSTインジケータが点灯します。
- その他、チューナーのいろいろなプレイ方法については、「Radio Listening」(p19)をご覧ください。

コントロールノブ③を下動かすと、受信バンドが次のように切り替わります。



B

自動選局します

コントロールノブ③を左右に動かすと、受信状態の良い放送局を自動的に選局します。



- コントロールノブ③を左右に動かしたときの選局の方法は、チューニングモードによって異なります。詳しくは「チューニングモード」(p20)をご覧ください。

A

プリセット局を選局します

キーを押すと、押したキーにメモリーされている放送局を選局します。



- プリセットチューニングは、あらかじめ各キーに放送局がメモリーされている必要があります。メモリー方法については、「オートメモリー」(p19)または「マニュアルメモリー」(p19)をご覧ください。

Music Disc & Audio File Listening

CDやオーディオファイルを本機や別売品のディスクチェンジャーでいろいろな機能を使ってプレイできます。

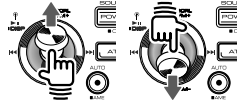


- CDとオーディオファイルの基本的な聴きかたは「ミュージックディスクやオーディオファイルを聴く」(p14)をご覧ください。

ディスク/フォルダサーチ

(オーディオファイル、ディスクチェンジャーのみ)

プレイするディスク、またはフォルダを選択します。

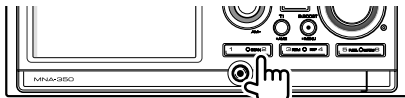


- ディスクサーチは、別売品のディスクチェンジャーのプレイ中に使用できます。
- フォルダサーチは、オーディオファイルのプレイ中に使用できます。

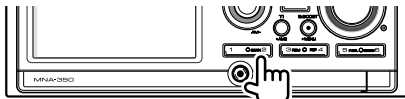
スキャンプレイ

ディスクやフォルダ内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探します。

1 スキャンプレイを開始します



2 聴きたい曲のところ...



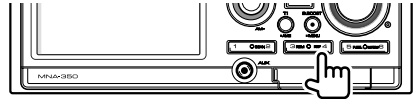
スキャンプレイが終了し、その曲からプレイされます。



- すべての曲がスキャンプレイされると、スキャンプレイは自動的に終了します。

リピートプレイ

現在聴いている曲またはディスク/フォルダ内の曲を繰り返しプレイします。



押すたびに、次の順でオン/オフされます。

CDプレイ中

表示	状態
TRAC REP	トラックリピートオン
REP OFF	リピートプレイオフ

オーディオファイルプレイ中

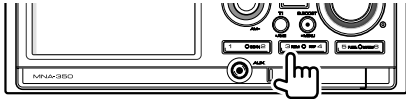
表示	状態
FILE REP	ファイルリピートオン
FOLD REP	フォルダリピートオン
REP OFF	リピートプレイオフ

ディスクチェンジャープレイ中

表示	状態
TRAC REP	トラックリピートオン
DISC REP	ディスクリピートオン
REP OFF	リピートプレイオフ

ランダムプレイ

プレイ中のCDまたはフォルダ内の曲をランダムな順でプレイします。



▶ DISC RDM / FOLD RDM / RDM ON

押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。



- コントロールノブを右に動かすと、次の曲をランダムに選択します。

マガジンランダムプレイ (ディスクチェンジャーのみ)

ディスクチェンジャーにセットされているディスクの中の曲をランダムな順でプレイします。



▶ MGZN RDM

押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフされます。



- コントロールノブを右に動かすと、次の曲をランダムに選択します。

タイトル/テキストスクロール

タイトル/テキストをスクロールさせます。

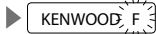
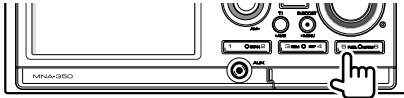


- スクロールできるのは次のタイトル/テキストです。
 - ディスクタイトル/トラックタイトル
 - ディスクテキスト/トラックテキスト
 - フォルダ名
 - 曲名
 - アルバム名
 - ファイル名
 - アーティスト名
- 「メニュー設定」(p24)で「DISP」項目を「OFF」に設定していると、スクロール途中でも表示が消える場合があります。

フォルダセレクト (オーディオファイルのみ)

聴きたいオーディオファイルが入っているフォルダをすばやく選択します。

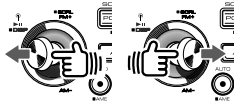
1 フォルダセレクトモードにします



フォルダ名が表示されます。

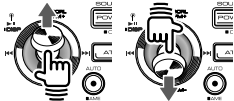
2 フォルダを選択します

同一階層内でフォルダを選ぶときは



左に動かすたびに手前のフォルダへと移動し、右に動かすたびに次のフォルダへと移動します。

フォルダの階層を移動するときは

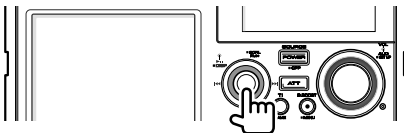


上に動かすたびに1階層下へと移動し、下に動かすたびに1階層上へと移動します。

第1階層に戻るときは



3 表示中のフォルダをプレイします



フォルダセレクトを中止するときは…



FM/AM放送を受信します。また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

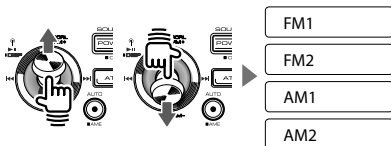


- FM/AM放送の基本的な聴きかたは「ラジオを聴く」(p15)をご覧ください。

オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます



2 オートメモリーを開始します



A-MEMORY

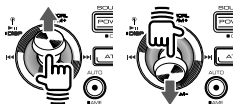


- 6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的にオートメモリーは終了します。

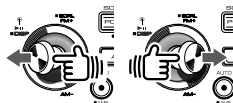
マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

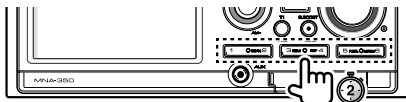
1 バンドを選びます



2 放送局を選びます



3 メモリーするキー(1~6のいずれか)を選びます



FM1-78.0 3 ch

チャンネルナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

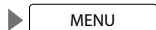


- オートメモリーではメモリーされない放送局をメモリーしたいときなどに便利です。

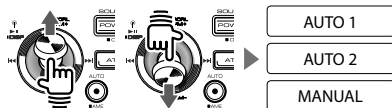
チューニングモード

選局するときのチューニングモードを設定します。

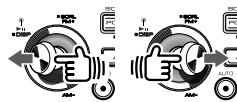
1 メニューモードにします



2 チューニングモードの項目を選択します



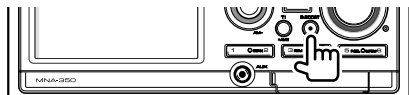
3 チューニングモードを選びます



チューニングモードには、次の3種類があります。

表示	設定内容
AUTO 1	受信状態の良い放送局を受信します。(オート1)
AUTO 2	メモリーされている放送局を受信します。(オート2)
MANUAL	受信する周波数を1ステップずつアップ/ダウンします。(マニュアル)

4 メニューモードを終了します

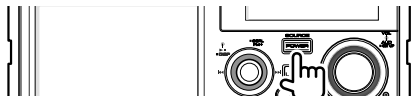


音響効果などを設定します。

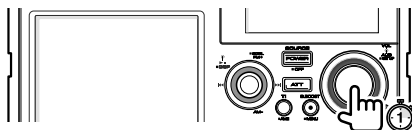
ボリュームオフセット

各ソースごとの音量差を調整します。

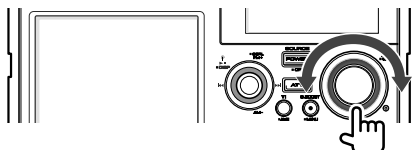
1 調整するソースにします



2 オーディオセットアップを開始します

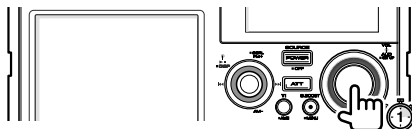


3 音量差を設定します



0 ~ -8 (AUX時は-8 ~ +8)の範囲で調整できます。

4 オーディオセットアップを終了します

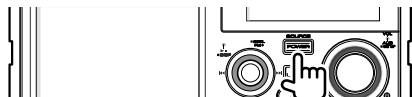


- ソースごとに音量オフセットを設定しておくと、ソースを切り替えてもほぼ同じ音量で聴くことができます。

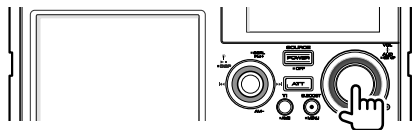
スピーカー設定

イコライザーカーブの値をスピーカーに合わせて微調整します。

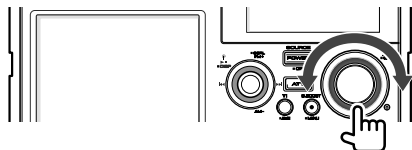
1 STANDBYモードにします



2 スピーカーマッチングモードにします



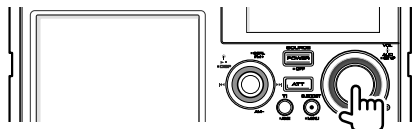
3 スピーカーを選択します



回すたびに、次の順で切り替わります。

表示	設定内容
STANDARD	標準的なスピーカーに合う設定。
MIDDLE	低音域のあまり出ない 小型のスピーカーに合う設定。
WIDE	低音域のよく出る 大型のスピーカーに合う設定。
NARROW	周波数帯域が狭い スピーカーに合う設定。

4 スピーカーマッチングモードを終了します



バスブースト

低音の増強をします。



押すたびに、次の順で切り替わります。

表示	設定
BB-L L1	バスブースト1 (初期設定)
BB-L L2	バスブースト2
BB-L OFF	バスブーストオフ

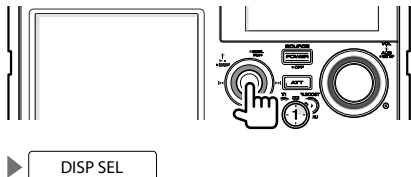
設定を切り替え、お好みの音の設定にしてください。

ディスプレイに表示する情報を設定をします。

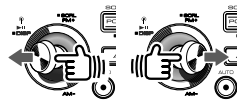
ディスプレイ表示切り替え

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。

1 ディスプレイセレクトモードにします



2 表示を選択します



左右に押すたびに、次の順に切り替わります。

FM/AM受信、交通情報受信時

表示	設定内容
FREQ	周波数
CLOCK	時計

CDプレイ/ディスクチェンジャープレイ時

表示	設定内容
D-TITLE	ディスクタイトル
T-TITLE	トラックタイトル
P-TIME	トラック演奏時間&トラック番号
CLOCK	時計

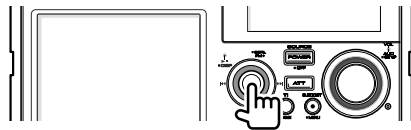
オーディオファイルプレイ時

表示	設定内容
TITLE	曲名&アーティスト名
ALBUM	アルバム名&アーティスト名
FOLDER	フォルダ名
FILE	ファイル名
P-TIME	ファイル演奏時間 & 曲番号
CLOCK	時計

STANDBY/AUX時

表示	設定内容
SRC NAME	ソースネーム
CLOCK	時計

3 ディスプレイセレクトモードを終了します



- 時計表示に設定すると、すべてのソースで時計表示に設定されます。
- 選択した情報がない場合は、代替の情報が表示されます。
- 曲の番号は3桁まで表示されます。

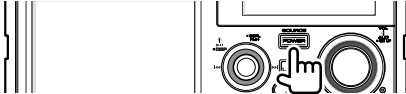
Menu Control

各種の機能を設定します。

メニュー設定

各ソースごとに、各種の機能を設定します。

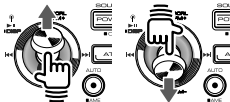
1 ソースを切り替えます



2 メニューモードにします

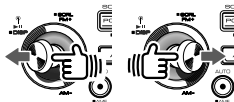


3 設定する項目を選択します



表示される項目は、ソースによって異なります。

4 各項目を設定します



- 参照ページ番号が記載されている項目の設定方法は、それぞれのページをご覧ください。
- 各項目の詳細については、「Help? Term」(p31)をご覧ください。

表示	設定	設定概要	ソース
BEEP	ON*/OFF	操作音のオン/オフを設定します。	SB
CLK ADJ	p25参照	時刻を設定します。	SB
SI	ON*/OFF	盗難防止用警告ランプのオン/オフを設定します。	SB
DISP	ON*/OFF	操作しないときは、ディスプレイを消します。	
DIM	ON*/OFF	ディスプレイの明るさを減光します。	SB
SPRM	ON*/OFF	Supreme機能のオン/オフを設定します。	AF
AUTO	AUTO 1*/ AUTO 2/ MANUAL p20参照	チューニングモードを設定します。	Tuner
MONO	OFF*/ON p29参照	モノラルで受信します。	Tuner
NAME SET	p26参照	AUXソースに名前を付けます。	AUX
SCL	AUTO*/ MANU	テキストスクロールを設定します。	
AUX	OFF*/ ON1/ON2	ソース選択時にAUXを表示するか設定します。	SB
CD READ	1*/2	CDの読み取りモードを設定します。	SB

* お買い上げ時の設定状態を示します。

SB : スタンバイ中に設定できます。

Tuner : Tunerソース中に設定できます。

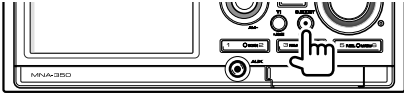
AF : オーディオファイルソース中に設定できます。

AUX : AUXソース中に設定できます。



- "MONO" はFM放送の受信中に表示されます。

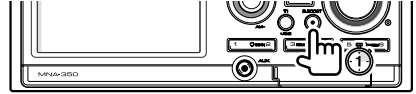
5 メニューモードを終了します



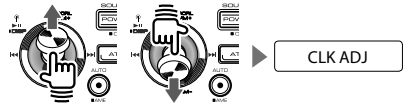
時刻合わせ

本機の時計を合わせます。

1 メニューモードにします

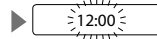
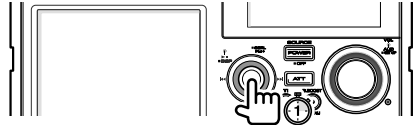


2 時刻合わせの項目を選択します



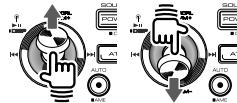
CLK ADJ

3 時刻合わせを開始します

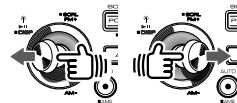


時計表示になるまで押し続けます。

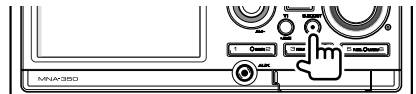
4 “時”を調整します



5 “分”を調整します



6 時刻合わせを終了します

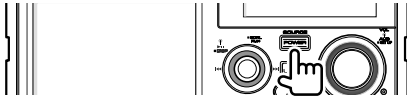


- 時計は12時間制です。
- “分”を調整したときには、時刻合わせ終了時に00秒からスタートします。

AUXネームセレクト

ソースをAUXに切り替えたときに表示される名前 (AUXネーム)を設定します。

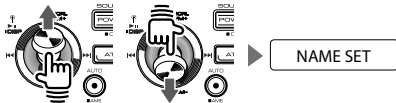
1 AUXソースに切り替えます



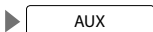
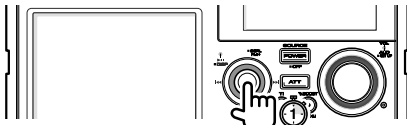
2 メニューモードにします



3 ネームプリセットの項目を選択します



4 AUXネーム選択を開始します



現在のAUXネームが表示されるまで押し続けます。

5 名前を選びます



左右に動かすたびに、次の順で名前が表示されます。

表示

AUX

DVD

PORTABLE

GAME

VIDEO

TV

6 AUXネーム選択を終了します



- 10秒以上何も操作しないと、AUXネーム選択は自動的に終了します。

オーディオファイル

以下のオーディオファイルがプレイできます。

プレイできるオーディオファイル

AAC-LC (.m4a), MP3 (.mp3), WMA (.wma)

プレイできるディスクメディア

CD-R, CD-RW, CD-ROM

プレイできるディスクフォーマット

ISO 9660 Level 1/2, Joliet, Romeo, Long file name

プレイできるAACファイル

ビットレート：16~320 kbps
サンプリング周波数：16, 22.05, 24, 32, 44.1, 48 kHz

iTunes m4aメタデータ(曲情報)：
Title/Artist/Album

プレイできるMP3ファイル

MPEG 1/2 Audio Layer 3規格
ビットレート：8~320 kbps(可変ビットレート (VBR)対応)
サンプリング周波数：8, 11.025, 12, 16, 22.05, 24, 32, 44.1, 48 kHz
ID3タグ：Ver1.0/1.1 (Title/Artist/Album)
Ver2.3 (Title/Artist/Album)：イメージ表示はサポートしていません)

プレイできるWMAファイル

Windows Media Audio準拠
(新しい機能が使われているWindows Media Audio 9およびそれ以降のバージョンは除く)
ビットレート：48~192 kbps(可変ビットレート (VBR)対応)

サンプリング周波数：32, 44.1, 48 kHz
WMA Tag：Title/Artist/WMA/Album Title

プレイできるファイルとフォルダの階層構造(CD-R/RW)

最大ディレクトリ階層：8
最大フォルダ数：100
1フォルダ中の最大ファイル数：4096

表示できる文字数

ファイル/フォルダ名：128文字
MP3 ID3タグ：30文字
WMAコンテンツ プロパティ：30文字
AAC 曲情報：60文字
文字数は1バイト文字の場合です。

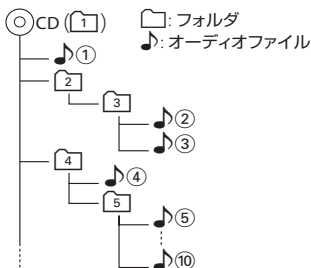
ファイル/フォルダ名の表示数には拡張子も含まれます。
上記の規格に準拠したオーディオファイルであっても、メディアやデバイスの種類やコンディションにより正常にプレイできない場合があります。



- オーディオファイルには正しい拡張子を付けてください。(AAC: ".M4A", MP3: ".MP3", WMA: ".WMA")
- オーディオファイル以外には拡張子を付けなくてください。オーディオファイル以外のファイルに拡張子を付けて再生すると、大きな音が出てスピーカーを破損することがあります。
- コピープロテクト(著作権保護)されたファイルはプレイできません。
- エンコードソフトの設定や記録状態によっては再生や表示ができない場合があります。
- 圧縮フォーマットがバージョンアップされたファイルや、仕様が追加されたファイルは再生できない場合があります。
- ライティングソフトウェアのクイックフォーマットで作成されたCD-RWは再生できません。
- CD-R/RWにディスクの最大容量まで一度に記録するには、ライティングソフトウェアの設定を"Disc at once"にしてください。
- CD-R/RWのファイルシステムはJolietを推奨します。他のファイルシステムでは環境によって文字化けする場合があります。
- CD-DA/オーディオファイルの混在ディスクでは、最初に記録した方式のみ再生します。
- ライティングフォーマットをCD-ROM MODE 2(XA)で記録したCD-R/RWが再生できない場合は、CD-ROM MODE 1で記録してください。

オーディオファイルのプレイする順番

下記のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでは①から⑩の順にプレイされます。



オーディオファイルはライティングソフトウェアで記録された順序で再生されます。
ファイル名の最初に"01"から"99"などの番号を付けると、再生順序を変更することもできます。

共通

- ?** チューナーの感度が悪い
- ✓ 自動車のアンテナが伸びていない。
 - ✗ アンテナを十分に伸ばしてください。

ミュージックディスク

- ?** CDやオーディオファイルをプレイできない
- ✓ CDやオーディオファイルディスクが異常に汚れている。
 - ✗ 「メディアの取り扱い」(p10)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

オーディオファイル

- ?** オーディオファイルがプレイできない
- ✓ ディスクに傷や汚れがある。
 - ✗ 「メディアの取り扱い」(p10)を見て、ディスクをクリーニングしてください。
- ?** 演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない
- ✓ オーディオファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。
 - ✗ —
- ?** 曲がスキップする
- ✓ 対応していないオーディオファイルをプレイした。
 - ✗ 「オーディオファイル」(p27)を参照して、本機でプレイできるオーディオファイルに変換してください。

共通

AAC (エーエーシー)

正式名「Advanced Audio Coding」の略称です。デジタル放送などに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。使用できるAAC収録メディアの種類やフォーマットなどは「オーディオファイル」(p27)をご覧ください。

MP3 (エムピーシー)

正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称です。MPEG AudioはDVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「オーディオファイル」(p27)をご覧ください。

WMA (Windows Media™ Audio)

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。使用できるWMA収録メディアの種類やフォーマットなどは「オーディオファイル」(p27)をご覧ください。

ディスクチェンジャー

外部接続された別売品のCDチェンジャー(KDC-C520、KDC-C510、KDC-C406など)、マルチメディアプレーヤー(VD-C77)です。

MENU

MONO (モノラル)

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなる場合があります。

SCL (スクロール)

ディスプレイにディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、フォルダネーム、ファイルネーム、曲名/アーティスト名またはアルバム名を選択しているとき、文字数が多いため表示されない場合にスクロールして表示する機能です。この機能を“AUTO”に設定しておくでスクロール表示を繰り返し行い、“MANU”に設定しておくで表示が変わったときだけ1回スクロール表示することができます。


SPRM (サブプリム)

低いビットレートでエンコードしたときに欠落してしまった高音域を、独自のアルゴリズムにより推定・補完する技術です。補完は圧縮フォーマット(AAC、MP3、またはWMA)別に最適化され、ビットレートに合わせて処理されます。なお、高いビットレートでエンコードされている曲や可変ビットレートでエンコードされている曲、高域の音が少ない曲では効果が表れ難い場合があります。

AUX

この機能をオンにすることにより、AUXソースを選択できるようになります。

ON1：AUXソースに切り替えたときに、AUX端子に接続した外部機器の音声が出力されます。常に外部機器をAUX端子に接続しているときはこの設定にします。

ON2：AUXソースで電源をオンにしたときに、アッテネーター機能が働きます。外部機器の音声を聴くときは[]キーを押してアッテネーター機能を解除します。この設定しておくで、外部機器をAUX端子に接続していないときに出る雑音を防ぎます。

OFF：AUXソースが選択できないようになります。AUX端子を使用しないときは、この設定にします。

BEEP (ビーブ)

キーを押したときに、押されたことが確認できるように“ピッ”音がする機能です。押してすぐ離れたときには“ピッ”と鳴り、1秒以上または2秒以上押し機能オンにしたときには“ピッピッ”と鳴ります。不要な場合は“OFF”に設定することにより消すことができます。なお、ビーブ音はブリアウトからは出力されません。

CD READ (CDリード)

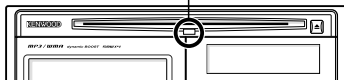
CDの読み込み方法を設定します。特殊なフォーマットのCDをプレイ時に、正常にプレイができない場合に“2”を設定すると強制的にCDをプレイすることができる機能です。なお、“2”に設定しても、音楽CDによってはプレイできない場合があります。また、“2”に設定するとオーディオファイルのプレイはできなくなります。通常は“1”でお使いください。

- 1：ディスクのプレイ時にオーディオファイルのディスクと音楽CDを自動的に識別します。
- 2：音楽CDとして強制的にプレイします。

SI (システムインジケーター)

盗難防止用警告ランプをオン/オフします。この機能をオンにしておくと、盗難防止用警告ランプが点滅し、盗難防止の手助けになります。

盗難防止用警告ランプ



DISP

“OFF”に設定すると、本機の操作を5秒間行わないときに、ディスプレイを消すことができます。これにより、車両ウィンドウへのディスプレイの写り込みを防ぐことができます。ただし、各設定モード中などは5秒経過しても、ディスプレイは消えません。なお、ディスプレイが消えているときは、電源のオン・オフ、音量調整、ソース選択、ディスクの取り出し以外の操作はできません。

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

TOC ERR :

- ディスクが異常に汚れています。
- ディスクに傷が多く付いています。
- ディスクが裏返しになっています。
- ディスクチェンジャーにディスクが入っていません。
- ディスクチェンジャーにトレイが入っていません。

E-05 :

ディスクが読めません。

E-15 :

ディスクに本機で再生できるデータが収録されていない。

EJECT :

- ディスクマガジンがセットされていません。
 - ディスクマガジンが完全に入っていません。
- など

NO DISC :

ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていません。

NA FILE :

サポートされていないフォーマットのオーディオファイルをプレイしようとした。

COPY PRO :

プレイしようとしたオーディオファイルは、コピープロテクトされています。

NO TRACK :

演奏しようとしたMDに何も録音されていません。

BLANK :

演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていません。

システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

E-77 :

何らかの原因で正常に動作していない。

- ➔ 本機のリセットボタンを押してください。“E-77”の表示が消えない場合は、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

HOLD :

ディスクチェンジャーの内部温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。

- ➔ 本機またはディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。

E-99 :

何らかの原因で正常に動作していない。

- ➔ イジェクトキーを押してください。イジェクトキーを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。それでも表示が消えない場合は、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

IN インジケーターが点滅 :

CDプレーヤーが正常に動作していない。

- ➔ CDを取り出してから、CDを入れなおしてください。

LOAD (点滅) :

ディスクチェンジャー内のディスクを交換中です。

READING (点滅) :

ディスクに収録されているデータのチェック中です。

PROTECT (点滅) :

スピーカーコードがショートまたは車両のシャーシーに接触したために、保護回路が働きました。

- ➔ スピーカーコードを適切に配線/絶縁しなおしてから、リセットボタンを押してください。
“PROTECT”表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

保証について

● 保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げの日より1年です。

修理を依頼されるときは

「Help? Troubleshooting」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。
本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。
補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。（本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町 2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

ナビダイヤル 0570-010-114 (一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金で問い合わせが可能です)
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-933-5133

FAX 045-933-5553

住所 〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00
土曜 9:30～12:00、13:00～17:30
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。

仕様一覧

FMチューナー部

- 受信周波数範囲（周波数ステップ）
：76.0 MHz～90.0 MHz (100 kHz)
- 実用感度 (S/N : 30 dB)
：9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
- S/N 50 dB感度
：15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
- 周波数特性 (\pm 3.0 dB)
：30 Hz～15 kHz
- S/N比
：70 dB (MONO)
- 選択度 (\pm 400 kHz)
：80 dB以上
- ステレオセパレーション
：40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

- 受信周波数範囲（周波数ステップ）
：522 kHz～1629 kHz (9 kHz)
- 感度
：28 dB μ (25 μ V)

CDプレーヤー部

- レーザーダイオード
：GaAlAs
- デジタルフィルター (D/A)
：8倍オーバーサンプリング
- D/Aコンバーター
：1Bit
- 回転数
：500～200 rpm（線速度一定・倍速）
- ワウ&フラッター
：測定限界以下
- 周波数特性
：10 Hz～20 kHz (\pm 1 dB)
- 高調波歪み率
：0.01 % (1 kHz)
- S/N比
：105 dB (1 kHz)
- ダイナミックレンジ
：93 dB
- MP3デコード
：MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
- WMAデコード
：Windows Media™ Audio準拠
- AACデコード
：AAC-LC*.m4a*ファイル

オーディオ部

- 最大出力
：50 W \times 4
- 定格出力
：22 W \times 4 (4 Ω 、1kHz、10%THD以下)
- スピーカーインピーダンス
：4～8 Ω
- オーディオコントロール
バス：100 Hz \pm 8 dB
ミドル：1 kHz \pm 8 dB
トレブル：10 kHz \pm 8 dB

AUX入力

- 周波数特性
：20 Hz～20 kHz (\pm 1 dB)
- 入力最大電圧
：1200 mV
- 入カインピーダンス
：100 k Ω

ナビメモリー部

- メモリー容量
：1.25 GB

電源部

- 電源電圧
：14.4 V (11～16 V)
- 最大消費電流
：10 A

寸法・質量

- 埋込寸法 (W \times H \times D)
：178 \times 100 \times 155 mm
- 重量
：1.7 kg

モニター部

画面サイズ

: 3.5 インチ
53.64(H) × 71.52(V) mm

表示方式

: 半透過型TN型

駆動方式

: TFTアクティブマトリクス

画素数

: 230,400 個
320(H) × 240(V)

画素配列

: R、G、B縦ストライプ

使用光源

: LED

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。